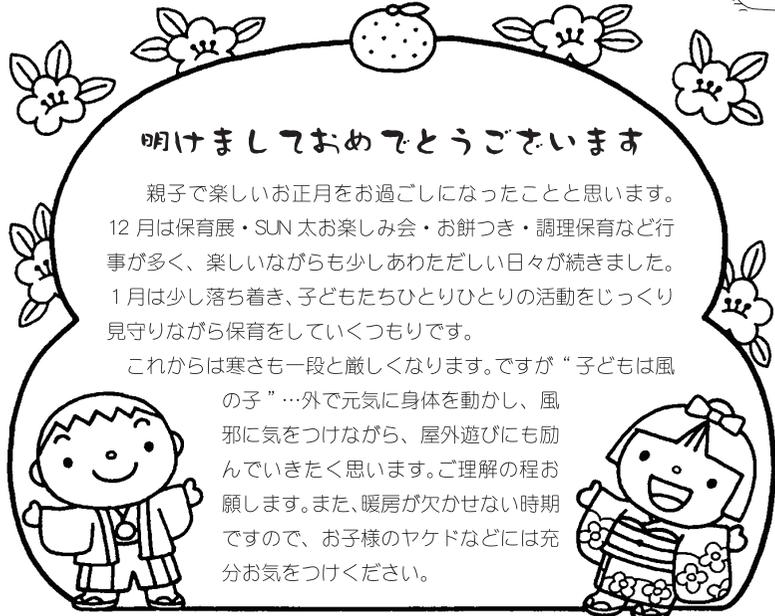




# 1月のえんだより

太陽の子保育園  
平成20年  
1月号



## 明けましておめでとございます

親子で楽しいお正月をお過ごしになったことと思います。12月は保育展・SUN太お楽しみ会・お餅つき・調理保育など行事が多く、楽しいながらも少しあわただしい日々が続きました。1月は少し落ち着き、子どもたちひとりひとりの活動をじっくり見守りながら保育をしていくつもりです。

これからは寒さも一段と厳しくなります。ですが“子どもは風の子”…外で元気に身体を動かし、風邪に気をつけながら、屋外遊びにも励んでいきたいと思います。ご理解の程お願いします。また、暖房が欠かせない時期ですので、お子様のヤケドなどには充分お気をつけください。



2007/12/15

## SUN太 お楽しみ会



お忙しい中、多数の方がご来場頂き本当にありがとうございました。おかげさまで無事に、楽しく終了することが出来ました。

らいおん組の子どもたちによる合奏・合唱は、12月25日にグリーン東京を訪問した際にも発表し、おじいさん・おばあさんに大変喜んでいただきました。

SUN太お楽しみ会の写真(プロカメラマン撮影)は、1月7日より掲示する予定です。お楽しみに!!



かぜひきさんがふえています!!

カゼ流行期を迎え、園では次のようなことに気を配っています

うがい【手洗い】…登園時、遊んだ後、給食前後など、こまめに行っています。



- 8日(火) 新年度入園・出張受付  
[平成20年度入園申請書類受付]  
午後4時~8時 うさぎ組で実施
- 9日(水) 避難訓練
- 16日(水) 体育指導(ぼんだ・くま・らいおん)
- 17日(木) 調理保育(ぼんだ)
- 21~25日 身体測定
- 22日(火) 0歳児健診  
グリーン東京訪問(らいおん)
- 24日(木) お誕生会
- 29日(火) 調理保育(らいおん)
- 31日(木) マジックショー
- 2/1(金) 節分の日会



昔ながらの遊びには、  
メリットがいっぱいあります



お正月の遊びといえば、羽根つきや凧あげなどの伝統的な遊びを思い浮かべますが、実際に遊んだことのある方は少ないかもしれません。

しかしそれはとてももったいないです! 世代を超えて楽しめ、親から子へ、祖父母から孫へ、伝承する喜びは格別です。遊びを通して知恵や発育を促すものばかりですし、お子さんにとっても素敵な思い出になるでしょう。ぜひ、今の子どもたちにも「あのお遊び、なつかしいなあ」という思い出をつくってあげたいですね。



## 十二支の話

十二支が日本に伝わったのは六世紀半ば頃で、江戸時代には一般市民の間に浸透しました。元々作者が「十二支」を民衆に浸透させるために、民衆にもわかりやすい人気の動物ばかりをセレクトしたそうですよ。

### 日本に伝わる 十二支の話

さてさて、「どうして十二支はあの動物なの?」と誰しもが一度は疑問に思ったことはありませんか? 日本では、こんな民話が語り継がれています。



これは福島県のものですが、類話は日本全国に伝わっており、他に、遅れてきた猫が神様に「顔を洗って出直して来い」と怒られて、以来猫が顔を洗うようになった。猫がお釈迦様の薬を取りに行ったねずみを食べてしまったために十二支に入れてもらえなかった。などというものもあるそうです。

## 低温やけどに気をつけましょう



[低温やけど] 40度前後の暖房器具で、同じ場所に長時間触れていることから起こるものです。じわじわと皮膚の深い所までやけどをしてしまい、高温のやけどよりも治りづらいです。

- ・電気カーペットの上で眠らないようにしましょう。
  - ・電気毛布は、寝床を温めたら電源を切りましょう。
  - ・湯たんぽ、電気あんかは、タオルなどでくるみましょう。
  - ・使い捨てカイロは、下着の上からはりましょう。
- また、長時間貼らないようにしましょう。

## 1/31 マジックショー ??? ??? ?

羽村マジッククラブの会員の皆様によるマジックショーを、1/31に行います。子どもたちも今から楽しみにしています。

昔々の大昔のある年の暮れのこと、神様が動物たちにお触れを出したそうなの。

「元日の朝、新年の挨拶に出かけて来い。一番早く来た者から十二番目の者までは、順にそれぞれ一年の間、動物の大将にしてやろう」

動物たちは、おらが一番とて、めいめいが気張って元日が来るのを待ってあった。ところが猫は神様のところにいつ行くのか忘れてしまったので、ねずみに訊くと、ねずみはわざと一日遅れの日を教えてやった。猫はねずみが言うのを間に受けて、喜んで帰っていったと。

さて元日になると、牛は「おらは歩くのが遅いので、一足早く出かけるべ」と夜のうちから支度をし、まだ暗いのに出奔した。牛小屋の天井でこれを見ていたねずみは、ぼんと牛の背中に飛び乗った。そんなことは知らず、牛が神様の御殿に近付いてみると、まだ誰も来ていない。

哉こそ一番と喜んで待つうちに門が開いた。とたんに牛の背中からねずみが飛び降り、ちよろちよろと走って一番になってしまった。それで牛は二番、それから虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の順で着いた。猫は一日遅れで行ったものだから番外で仲間に入れなかった。それでねずみを恨んで、今が今でもねずみを追い回すのだそうなの。